ＥＳＤＧｓ通信　**ライフヒストリーデザイン曼荼羅の作成20210530　手島利夫です**

　皆様、こんにちは。いつもお世話になっております。

　先日お話しした中学校全校生徒に向けた講演会「コロナ時代を生きる」２時間の授

業は、生徒さんたちが集中を切らすことなく無事終了しました。さすがにＳＤＧｓを

意識して経営を進めていらっしゃる学校だと、大いに感心したところです。

６月には関西の高等学校でも、同様の授業を提供させていただけることになりまし

た。これも大いに楽しみです。そのころまでには２回目のワクチン接種も済み、免疫

もできている予定ですので、気をつければ移動も可能になるかと思っています。

　さて、昨日、目白大学中山研究室の科研費研究「ＳＤＧｓ に対応した教師教育に資

する学習スキル開発に関する研究」の研究会で、教育実践者としての歩みをお話させ

ていただく機会をいただきました。その際、成田喜一郎先生のご助言を受けて、ライ

フヒストリーデザイン曼荼羅を作成し、それを使ってお話させていただいたのです。



　自分の研究・実践の足跡を振り返ると、ＥＳＤを推進するのに、実は若き日に古川

清行先生と出会って、子どもの問題意識を大切にする学習指導のあり方を追究し続け

てきたことが活かされていることがよくわかりました。つまり「こどもの学ぶ心に火

をつける」という、教育の普遍的な進め方を踏まえてＥＳＤを推進することができ、

それが、ＥＳＤやＳＤＧｓを「理念ばかりの形式的なもの」にせず、「価値ある学び」

として広めることにつながっているのだとわかりました。

　また、東雲小学校時代に出会った多田孝志先生からは、共創型対話学習の視点から

「学びにおける対話の重要性」について常にご指導いただいてきました。

それらのことが、ＥＳＤカレンダーによる「教科等横断的な指導」と、「主体的・対

話的で深い学び」という、学習指導要領の２本柱に沿った学校経営を１３年間にわた

って展開し続ける源泉となっていたのだとわかります。

ライフヒストリーデザイン曼荼羅をまとめながら、私自身がお釈迦様の掌の中で走

り回っていた一匹のサルのような心境になりましたが、大先輩方の拓いてくださった

道があるから今の教育に光があるのだとも思えるのです。

このライフヒストリーデザイン曼荼羅については、成田喜一郎先生の資料からご覧

いただくのが分かりやすいと思います。私がご紹介いただいたサイトを以下に転記さ

せていただきます。



「ライフヒストリーデザイン曼荼羅」の描き方については、こちらごご覧ください。

<https://note.com/narisen2017/n/ndfae2e28b915>（Lecture RADIO:11分53秒：聴く〜聴きなが

ら読む）

<https://holisticeducation2011.blogspot.com/2020/11/mandalaegpm.html> （Web Site：読むだ

け、あとから聴く）

＊Web Siteには、学生の書／描いた曼荼羅事例があります。 手書き入力か、デジタル入

力か、シートの選択ができます。

・手書きシートのダウンロード（推奨）

　<http://laotao.way-nifty.com/islikewater/files/lhdmandara_new2020.pdf>

・デジタル入力シートのダウンロード

　<http://laotao.way-nifty.com/islikewater/files/lhd20mandala20word2020.docx>

 「ライフヒストリーデザイン曼荼羅」についてのお問い合わせは、

成田までどうぞ。（kiichironarita2018@gmail.com）



とのことです。

私は手書きシートの形の方が気に入りましたので、自分でパワーポイント上にこの書式

を再現し、そこに文字を挿入しながらまとめてみました。この書式もサンプルと一緒に「添

付」いたしますので、ご活用いただけたら幸いかと思います。

　今回もご覧いただき、ありがとうございました。

**「ＥＳＤ・ＳＤＧｓ推進研究室」　手島利夫**

URL=https://www.esd-tejima.com/

　　 　　　　　　　　事務所：〒130-0025　東京都墨田区千歳１－５－１０

　　　　　　　　　　 ☏＝ 03-3633-1639　 090-9399-0891

　　　 Ｍａｉｌ＝contact@esdtejima.com

